

第3回 桐生市下水道使用料審議会

令和7年5月8日

目次

- 1 令和5年度・令和4年度の維持管理費内訳
- 2 費用削減の取り組み
- 3 追加改定案③・④

1 令和5年度・令和4年度の維持管理費内訳

○令和5年度決算

費用（26億3,839万円） 維持管理費 10億8,126万1千円
資本費 15億5,712万9千円

・維持管理費内訳（施設の運転管理等に要する費用）

人件費	動力費	委託料	修繕費	工事費	材料費	負担金	その他
職員給料・手当等	光熱水費・燃料費等	運転管理委託・徴収事務委託等	施設補修等	管渠移設工事等	マンホール蓋等	流域下水道維持管理負担金等	修繕引当金・備用品費等
1億250万6千円	1億5,874万1千円	2億3,952万4千円	8,267万8千円	1,162万9千円	1,551万6千円	3億5,856万6千円	1億1,210万1千円

・資本費内訳（減価償却費＋利子）

企業債利息・企業債取扱諸費	減価償却費
企業債利息	減価償却費・除却費
1億4,277万1千円	14億1,435万8千円

○令和4年度決算

費用（27億3,366万5千円） 維持管理費 11億3,541万6千円
資本費 15億9,824万9千円

・維持管理費内訳（施設の運転管理等に要する費用）

人件費	動力費	委託料	修繕費	工事費	材料費	負担金	その他
職員給料・手当等	光熱水費・燃料費等	運転管理委託・徴収事務委託等	施設補修等	管渠移設工事等	マンホール蓋等	流域下水道維持管理負担金等	修繕引当金・備用品費等
1億159万4千円	1億6,332万1千円	2億3,438万4千円	8,153万円	192万円	1,008万5千円	3億5,976万2千円	1億8,282万円

・資本費内訳（減価償却費＋利子）

企業債利息・企業債取扱諸費	減価償却費
企業債利息	減価償却費・除却費
1億6,545万4千円	14億3,279万5千円

2 費用削減の取り組み

① 公共下水道事業全体計画区域の縮小

- ・ 公共下水道の整備の見通しが立たない地区や公共下水道での整備が非効率となる区域を計画区域から除外し、合併処理浄化槽による処理方法とすることで、整備費用を縮減。

【新里地区：実施済】 事業費の確保が難しく、整備が見通せない。

- ・ 公共下水道を整備した場合には約16年かかる。

公共下水道の整備費用は、約1,737,000千円

合併処理浄化槽での整備では、約207,000千円

※浄化槽所有者個人が整備し、市から補助金を支給する。

事業費：約1,530,000千円削減（市費分約183,000千円削減） 約11,400千円/年削減

【R7実施予定】 人口密度が低く、整備が非効率となる地区

- ・ 公共下水道を整備した場合には約35年かかる。

公共下水道の整備費用は、約3,655,000千円

合併処理浄化槽での整備は、約480,000千円

※浄化槽所有者個人が整備し、市から補助金を支給する。

事業費：約3,175,000千円削減（市費分約373,000千円削減） 約10,600千円/年削減

② 小規模污水处理場を廃止し、公共下水道へ接続

- ・ 公共下水道に接続したことにより、小規模污水处理場に関する維持管理が不要となった。
（主な維持管理費用：施設管理委託料、設備等修繕料、動力費）

【新堀住宅団地小規模污水处理場：R6実施済】

年間維持管理費：約4,500千円（R5決算額4,546千円）

③ 企業債償還方法の変更

- ・ 償還額が一定で予定が立てやすい**元利均等方式**により借入れを行っている。
新規借入れのうち償還方法を変更できるものについて**元金均等方式**に変更。
償還方法を変更することにより、償還総額が減少する。
- R6年度に借り入れた53,200千円については、元金均等償還を選択。
 利子支払い総額は、元利均等償還では約5,220千円
 元金均等償還では約5,100千円 **約120千円削減**

④ 境野水処理センター施設内の節電対策 【実施済】

排風機等の運転方法を見直したことで、使用電力量が減少。
約237,500KWh→約115,800KWh
※約121,700KWhの電力量削減により、動力費**約2,860千円削減**

⑤ 汚泥の処理方法変更 【実施済】

施設の更新前は熱処理により汚泥の脱水・乾燥させ焼却を行っていたが、更新後の施設は脱水機により汚泥の脱水を行い、脱水した汚泥はセメントのリサイクル工場へ場外搬出することにした。
これにより、脱水のための脱水助剤及び脱水汚泥の場外搬出に係る汚泥処分手数料は発生するものの、熱処理に関する各種手数料・維持管理委託料が無くなるため、総額で**約5,000万円**の経費が削減となった。

⑥ ウォーターP P Pの導入検討について

民間のノウハウを活用し、老朽化した施設の改築更新や維持管理、施設の運転管理について官民連携手法を用い、効率的な事業運営を目指すもので、ストックマネジメント計画を実施するための手法として、現在導入検討を進めている。

- ・ 令和6年度・7年度で導入可能性調査を実施

【令和6年度】現状分析や課題の洗い出し、企業の参画意識を確認するための市場調査等を実施

【令和7年度】令和6年度の調査を基に事業範囲規模等、導入について検討を進める。

3 追加改定案③・④

案①

(第2回で提示済)

(税抜)

基本使用料 (円/月)	従量使用料 (円/㎡)
1,000 ※基本水量なし	1~10㎡ 50 11㎡~ 150

案②

(第2回で提示済)

(税抜)

基本使用料 (円/月)	従量使用料 (円/㎡)
1,500 ※基本水量あり	1~10㎡ 0 11㎡~ 150

案③

(税抜)

基本使用料 (円/月)	従量使用料 (円/㎡)
1,200 ※基本水量なし	1~10㎡ 30 11㎡~ 150

案④

(税抜)

基本使用料 (円/月)	従量使用料 (円/㎡)
1,100 ※基本水量なし	1~10㎡ 40 11㎡~ 150

	案①	案②	案③	案④
使用料単価	159.9円	164.1円	162.2円	161.2円
経費回収率	105.23%	107.98%	106.7%	106.1%
使用料収入	(R9改定後予測) 1,546,134千円 (R9改定無予測) 1,344,465千円 差 201,669千円	(R9改定後予測) 1,586,469千円 (R9改定無予測) 1,344,465千円 差 242,004千円	(R9改定後予測) 1,567,992千円 (R9改定無予測) 1,344,465千円 差 223,527千円	(R9改定後予測) 1,558,605千円 (R9改定無予測) 1,344,465千円 差 214,140千円
有収水量	(R9予測) 9,668,139㎡	(R9予測) 9,668,139㎡	(R9予測) 9,668,139㎡	(R9予測) 9,668,139㎡
汚水処理費	(R9予測) 1,469,260千円	(R9予測) 1,469,260千円	(R9予測) 1,469,260千円	(R9予測) 1,469,260千円

【使用水量による下水道使用料】

0㎡使用の場合	1,000円/月	1,500円/月	1,200円/月	1,100円/月
6㎡使用の場合	1,300円/月	1,500円/月	1,380円/月	1,340円/月
8㎡使用の場合	1,400円/月	1,500円/月	1,440円/月	1,420円/月
10㎡使用の場合	1,500円/月	1,500円/月	1,500円/月	1,500円/月
11㎡使用の場合	1,650円/月	1,650円/月	1,650円/月	1,650円/月

※最大500円増加

※最大500円増加

※最大500円増加

※最大500円増加